

重点的な取組の進展度等一覧

総合目標の状況

| 総合目標 | 現状値 | 令和3年度 実績値 | 令和4年度 実績値 | 目標値 |
|-----------------------------------|--------------|--------------|-------------------|----------------|
| 合計特殊出生率 | 1.47 (R元年) | 1.43 (R3年) | 6月上旬頃に判明(概数)(R4年) | 1.8台(2020年代半ば) |
| 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合 | 51.2% (R元年度) | 53.0% (R3年度) | 57.5% (R4年度) | 63.5% (R6年度) |

重点的な取組の進展度一覧

| 重点的な取組 | 取組の進展度 | 判断理由 | 重点目標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-------------------------|-----------------|--|------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------|------------|------------|
| | | | | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 達成状況 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 |
| 1 子どもの貧困対策 | ☹️ あまり進まなかった | 「子どもの貧困対策計画を策定している市町数」について、70%以上の達成にとどまったことから、左のとおり判断しました。 | 子どもの貧困対策計画を策定している市町数 | / | 11市町 | 13市町 | 18市町 | 0.72 | 22市町 | 29市町 |
| | | | | 8市町 | 9市町 | 11市町 | 13市町 | | / | / |
| 2 児童虐待の防止 | 😊 進んだ | 「児童虐待の早期対応力強化に取り組む市町数」について、目標を達成したことから左のとおり判断しました。 | 児童虐待の早期対応力強化に取り組む市町数 | / | 20市町 | 23市町 | 26市町 | 1.00 | 29市町 | 29市町 |
| | | | | 14市町 | 26市町 | 27市町 | 27市町 | | / | / |
| 3 社会的養育の推進 | ☹️ 進まなかった | 「児童養護施設・乳児院の多機能化等の事業数(累計)」について、目標が未達成となったことから左のとおり判断しました。 | 児童養護施設・乳児院の多機能化等の事業数(累計) | / | 11事業 | 12事業 | 14事業 | 0.00 | 16事業 | 18事業 |
| | | | | 8事業 | 12事業 | 13事業 | 13事業 | | / | / |
| 4 若者等の雇用対策 | 5月末頃に判明 | 5月末頃に判明 | 県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合 | / | 46.8% | 47.9% | 48.9% | 5月末頃に判明 | 50.0% | 51.0% |
| | | | | 41.8% | 43.5% | 44.0% | 5月末頃に判明 | | / | / |
| 5 不妊に悩む家族への支援 | 😊 ある程度進んだ | 「県独自の全ての不妊治療助成事業に取り組む市町数」について85%以上の達成状況であることから左のとおり判断しました。 | 県独自の全ての不妊治療助成事業に取り組む市町数 | / | 19市町 | 22市町 | 25市町 | 0.88 | 27市町 | 29市町 |
| | | | | 17市町 | 20市町 | 22市町 | 22市町 | | / | / |
| | | | 不妊治療に職場の理解があると感じている人の割合 | / | 51.0% | 54.0% | 57.0% | — | 60.0% | 60.0% |
| 6 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実 | 😊 進んだ | 「母子保健コーディネーター養成数(累計)」、「産婦健診・産後ケアを実施している市町数」について、目標を達成したことから左のとおり判断しました。 | 母子保健コーディネーター養成数(累計) | / | 190人 | 220人 | 245人 | 1.00 | 270人 | 295人 |
| | | | | 169人 | 194人 | 227人 | 246人 | | / | / |
| 7 周産期医療体制の充実 | ☹️ あまり進まなかった | 「周産期死亡率」「妊産婦死亡率」について、目標を達成することができなかったものの、「周産期死亡率」が昨年度より低下したため、左のとおり判断しました。 | 周産期死亡率(県) (厚生労働省「人口動態統計」) | / | 3.3※2 | 2.1※2 | 2.1※2 | 0.75 | 2.1※2 | ※2 |
| | | | | 2.9 (H30年) | 2.0 (R元年) | 2.9 (R2年) | 2.8 (R3年) | | / | / |
| | | | 妊産婦死亡率(県) (厚生労働省「人口動態統計」) | / | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.00 | 0.0 | 0.0 |
| | | | | 7.8 (H30年) | 0.0 (R元年) | 0.0 (R2年) | 8.9 (R3年) | | | |

| 重点的な取組 | 取組の進展度 | 判断理由 | 重点目標 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---------------------------------|-----------------|--|--|----------|----------|----------|----------|------|----------|----------|
| | | | | 現状値 | 目標値 | 目標値 | 目標値 | 達成状況 | 目標値 | 目標値 |
| | | | | | 実績値 | 実績値 | 実績値 | | 実績値 | 実績値 |
| 8 幼児教育・保育、放課後児童対策などの子育て家庭の支援 | ☹️ 進まなかった | 「保育所等の待機児童数」、「放課後児童クラブの待機児童数」、「県が関わって実施した「みえの親スマイルワーク」の実施市町数」について、いずれも目標が未達成（見込み）となったことから左のとおり判断しました。 | 保育所等の待機児童数（県） （厚生労働省「保育所等利用待機児童数調査」） | | 0人 | 0人 | 0人 | — | 0人 | 0人 |
| | | | | 81人 | 50人 | 64人 | 6月上旬頃に判明 | | | |
| | | | 放課後児童クラブの待機児童数（県） （厚生労働省「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況調査」） | | 37人 | 19人 | 0人 | 0.00 | 0人 | 0人 |
| | | | | 55人 | 66人 | 28人 | 52人 | | | |
| 県が関わって実施した「みえの親スマイルワーク」の実施市町数 | | 11市町 | 17市町 | 23市町 | 0.61 | 29市町 | 29市町 | | | |
| | 4市町 | 5市町 | 10市町 | 14市町 | | | | | | |
| 9 男性の育児参画の推進 | ☹️ あまり進まなかった | 「みえの育児男子プロジェクト」に参加した企業・団体数」について目標を達成しましたが、「男性の育児休業取得率」が目標を達成しなかったことから左のとおり判断しました。 | 男性の育児休業取得率（育児休業制度を利用した従業員の割合（県、男性） ※3 （三重県「三重県内事業所労働条件等実態調査」） | | 8.1% | 9.8% | 17.2% | 0.55 | 21.5% | 25.8% |
| | | | | 7.6% | 9.4% | 12.9% | 9.4% | | | |
| | | | 「みえの育児男子プロジェクト」に参加した企業・団体数 | | 120企業・団体 | 140企業・団体 | 160企業・団体 | 1.00 | 180企業・団体 | 200企業・団体 |
| | 82企業・団体 | 84企業・団体 | 114企業・団体 | 160企業・団体 | | | | | | |
| 10 発達支援および医療的ケアが必要な子どもへの支援 | 😊 ある程度進んだ | 「CLMと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合」、「医療的ケア児・者コーディネーター養成研修修了者数（累計）」について目標を達成することができなかったものの、「CLMと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合」について90%以上の達成状況であること、昨年度より実績値が上昇したことから左のとおり判断しました。 | 「CLMと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合（県） | | 58.5% | 61.0% | 64.0% | 0.95 | 67.5% | 67.5% |
| | | | | 57.4% | 59.4% | 60.5% | 61.1% | | | |
| 11 仕事と子育ての両立支援などの働き方改革の推進 | 😊 進んだ | 「多様な就労形態を導入している県内事業所の割合」について、目標を達成したことから左のとおり判断しました。 | 医療的ケア児・者コーディネーター養成研修修了者数（累計） ※4 | | 91人 | 111人 | 183人 | 0.70 | 213人 | 243人 |
| | | | | 71人 | 107人 | 153人 | 174人 | | | |
| | | | 多様な就労形態を導入している県内事業所の割合 （三重県「三重県内事業所労働条件等実態調査」） | | 78.9% | 79.9% | 80.9% | 1.00 | 81.4% | 83.6% |
| | | | | 77.9% | 80.7% | 86.1% | 87.4% | | | |

※1 「5 不妊に悩む家族への支援」の重点目標「不妊治療に職場の理解があると感じている人の割合」については、不妊治療の申請のため窓口に来る方を対象としたアンケートを活用してきましたが、令和4年4月より不妊治療が保険適用となったことから、当アンケートの継続が困難となりました。このため、令和5年度から、調査対象者の変更を行ったうえで、同様のアンケートの実施を検討しています。

※2 「7 周産期医療体制の充実」の重点目標「周産期死亡率（県）」は、第7次三重県医療計画（平成30年度～令和5年度）による目標値としています。なお、周産期死亡率の目標については、今後、次期計画等をふまえて検討します。

※3 「9 男性の育児参画の推進」の重点目標「男性の育児休業取得率（育児休業制度を利用した従業員の割合（県、男性）」は、令和3年度の実績をふまえ、令和4年度に令和4年度以降の目標値を上方修正しています。

※4 「10 発達支援および医療的ケアが必要な子どもへの支援」の重点目標「医療的ケア児・者コーディネーター養成研修修了者数（累計）」は、令和3年度の実績をふまえ、令和4年度に、令和4年度以降の目標値を上方修正しています。